家畜衛生・公衆衛生獣医師
インターンシップ

VP camp

受入機関用手引き

NPO 法人　獣医学教育支援機構

目次

1	VPcamp実習とは?	P2
2	参加方法	P2
1)	申込みから修了までの流れ	P2
2)	手続きの日程および方法	P3
3)	申込概要	P4
4)	受入学生の決定	P5
5)	実習開始まで	P6
6)	実習終了後	P6
3	提出書類の様式	P6
4	問い合わせ先	P7
	【参考】実習案	P8.9.10.11
	【参考】実習プログラム（様式1）	P12
	【参考】実習申込表（様式4）	P13
	【参考】実習受入表（様式4-1）	P14
	【参考】VPcamp個別評価シート	P15

1 VPcamp実習とは？

獣医学生に家畜衛生分野及び公衆衛生分野における獣医師の業務を体験してもらうことにより、家畜衛生分野及び公衆衛生分野の最前線で活躍できる高度な実践力を備えた獣医師の養成を推進するとともに、獣医学生が公務員獣医師の業務体験を通じて獣医師という資格の意義、重要性、社会的な役割及び獣医師の職域に対する理解を深めることを目的とした実習である。家畜衛生・公衆衛生実習のうち、自治体以外の機関で実施される実習をVPcampという。

2 参加方法

1 ） 申込みから修了までの流れ

ステップ1	VPcamp事務局から各機関へ参加依頼メールの送信
ステップ2	VPcamp事務局へ実習プログラムの提出
ステップ3	WEBサイトへプログラムを公開→学生募集開始
ステップ4	大学による申込者への推薦付与と保険加入状況の確認→事務局へ
ステップ5	VPcamp事務局から機関へ応募者一覧の送信
ステップ6	機関による受入判定→VPcamp事務局へ受入の返信
ステップ7	VPcamp事務局から学生へ受入連絡
ステップ8	学生から機関へ事前打ち合わせの連絡(必要に応じて)
ステップ9	必要書類の提出、講義動画の視聴→実習開始
ステップ10	実習終了後、日誌回収→個別評価シート作成

２）手続きの日程および方法

日程	手続き	備考
9月中旬	参加依頼のメール送信	**実習プログラム(様式1)**を同時配布
10月下旬	提出締め切り	ご協力いただける場合は、**実習プログラム(様式1)**を作成しVPcamp事務局へ提出
12月上旬	学生募集開始	**実習プログラム**をWEBサイトへ一斉公開
12月中旬	申込締切	学生は応募フォームへ必要事項を入力 事務局は応募者情報をとりまとめて大学へ提出
12月下旬	大学確認終了	大学は参加希望者を確認 事務局へ回答を提出
1月上旬	機関へ応募者情報を送信	**実習申込表(様式4)**を送信
1月中旬 1月下旬	受入学生を事務局へ通知 大学と申込者へ実習受入の通知	**実習申込表(様式4)**を基に受入学生を選定 **実習受入表(様式4-1)**を事務局へ提出 事務局から大学及び申込者へ通知
受入決定後 速やかに	参加学生と受入機関との事前打ち合わせ ＊受入決定通知書にある機関へ実習生本人が連絡をして打ち合わせを行う 受入学生の追加書類提出	1. 実習決定後の提出書類の提出先および提出締切日の確認 2. 実習に必要なもの（服装・持ち物）の確認 3. 前泊の有無、実習初日の集合場所および時間の確認 4. その他、健康チェック等に関する確認 指定された機関担当者へ書類の提出 ・誓約書（必要に応じて） ・履歴書（必要に応じて） ・保険証明書（傷害保険及び賠償責任保険に加入していることがわかる書類）

３）申込概要

実習対象者	・獣医学部(科)に在学している全学年生 ・家畜衛生、公衆衛生に興味・関心がある者 ・指導教員の推薦する者 ・各機関が個別に定める条件を満たす者
実習内容	・実習例(P8-11)参照
実施時期及び定員	・実施時期は通年とする ・時期及び定員は機関ごとに異なる
実習開始日と終了日	・実習開始日は原則月曜日とする ただし希望日数が5日間に満たない場合は、開始日は月曜日に限らず、 終了日を開始日と同じ週の金曜日までに設定する
実習日数	・家畜衛生行政、公衆衛生行政それぞれ原則５日間以上とする ＊1 ただし、実習受入機関の都合、あるいは大学のカリキュラムによっては、 5日未満の場合であっても可 ＊2 家畜衛生・公衆衛生あわせて5日間で組むことも可
保険への加入	・実習中の不慮の事故に備え、実習期間中の傷害保険および賠償責任保険に加入する (機関が指定した保険証書を提出する)
実習に必要な経費	・実習に必要な旅費、宿泊費、その他の経費はすべて実習生の負担とする

４）受入学生の決定

募集開始	・11月　WEBサイトへ実習地一覧を公開 ・12月　学生は、応募フォームへ必要事項を入力 ・12月下旬　VPcamp事務局で応募者を取りまとめて各大学へ通知 ・大学は、応募学生全員分の教員推薦と保険加入状況を確認 ・正式に**実習申込表(様式4)**をVPcamp事務局へ提出
学生の選定	・1月上旬　事務局から受入機関へ**実習申込表(様式4)**を提供 ・**実習申込表(様式4)**を基に、受入学生の決定 ・1月中旬　受入機関から事務局へ**実習受入表(様式4-1)**の提出
受入結果の通知	・1月下旬　事務局→大学→学生へ受入通知を送付 ・受入の決まった学生は、通知受領後速やかに受入機関へ連絡
事前打ち合わせ	・提出書類と提出先、提出期限 ・実習に必要なもの（服装・持ち物） ・前泊の有無、実習初日の集合場所および時間 ・その他、健康チェック等に関すること
学生には以下を指示してあります	
実習中に遵守すべき事項	①実習生の都合による実習先等の変更は原則として認めない。
	②実習生は受入決定通知書受領後速やかに実習先へ連絡し、誓約書、保険証明書の提出、集合時間や持ち物等の指示を仰ぐこと。
	③予め実習先へ通知した到着時間を遵守すること。やむを得ず変更する場合は、直ちに実習先へ連絡し、事前に了承を得ること。
	④実習生が故意または過失により施設、器具類等を破損した場合は、実習生が弁済の責を負うものとする。
	⑤実習生は指導獣医師等の指示に従い規律ある行動をとるものとし、規律が乱れる時は実習を中止させることもある。
	⑥実習で知りえた診療所等の事務上の機密に属する事項及び個人情報については、実習期間中及び実習終了後においても一切これを漏えいしないこと。
	⑦研修期間中における施設、人物、動物、機器類等の写真や動画撮影は、自治体担当者や動物飼養者等の許可を得て行うこと。また、撮影の承諾を得た写真や動画であっても、ホームページ、ブログ、SNS、共有サイト等に掲載することは、限られたネット環境であっても禁止する。

５）実習開始まで

文書の取り交わし	・参加者の決定後、VPcamp事務局より依頼状をメールにて送付 ＊VPcamp事務局は依頼状以外の締結書類は作成しませんので、覚書等別途必要な場合は学生の所属する大学とやり取りをしてください。
事前講義プログラムの視聴	・ホームページより、受入機関の指定する講義動画の視聴 ＊視聴のためのパスワードが必要（受入通知書に記載します）

６）実習終了後

実習日誌の回収	・実習中、学生は**実習日誌(様式11)**を持参し毎日記入 ・実習最終日に紙で提出するか、後日PDF化したものをメールで提出
実習終了の報告	回収した日誌を基に、**個別評価シート(様式12)**を作成し事務局へ提出
提出方法	ファイル受け渡しソフト【Proself】を使用＊

3 提出書類の様式

実習申込時　　**・実習プログラム（様式1）** 12ページ参照

受入学生決定時　　**・実習申込表（様式4）・実習受入表 (様式4-1)** 13.14ページ参照

実習終了後　　**・個別評価シート(様式12)**

＊基本的に、ファイル受け渡しソフト【Proself】を使用し専用フォルダへアップロードしていただきますが、機関独自の授受方式があるようでしたらそちらをご使用いただいて差し支えありません。

4 問い合わせ先

NPO法人獣医系大学間獣医学教育支援機構内VPcamp事務局
〒113-0034 東京都文京区湯島3丁目20-9 3F
メールアドレス：vpoffice@veteso.or.jp
TEL：03-5817-8824（お問い合わせはなるべくメールでお願いします）

実習プログラムについて

VPcampとして各地で実施されるインターンシップ（実習）プログラムは、実施内容から「ベーシック実習」と「アドバンスト実習」の2つに分類するものとします。
「ベーシック実習」とは、施設や業務の見学・帯同、業務説明等の講義、検査キット等を用いた簡易検査体験で構成された実習プログラムを指します。
「アドバンスト実習」はベーシック実習に加え、①簡易体験に留まらない検査実習、②より高度で専門的な知識の習得と実践、③自発的・発展的な思考を促すプログラムを含む実習プログラムを指します。

1)簡易体験にとどまらず、検体の採取、経時的な操作・観察、判定、評価の一連のプロセスを体験することができる実習。

2)感染症管理、HACCP構築、畜水産物の輸出入手続き、リスクアナリシス、管理獣医師業務体験など、現場に即した実践的な内容かつ大学カリキュラムのみでは深化が困難なテーマを取り扱う実習。

3)単に見学・帯同に終始せず、見聞きした内容を掘り下げるディスカッションなど、アクティブラーニングを取り入れたプログラム。

実習プログラムの具体例

食肉衛生検査所

■ベーシック実習

・施設見学／業務説明（HACCP含む）

・内臓検査体験

・微生物検査、生化学検査、病理検査の基本手技を体験する実習（簡易検査体験）

■アドバンスト実習

・細菌、ウイルスを特定する検査実習（2～3日かけて経時的な観察、操作を行う検査体験）

・放射性物質検査体験（基本知識や背景の講義、検体処理等一連の体験を含む）

・HACCPに沿った点検業務体験

・HACCPの構築体験

・HACCPに沿った衛生指導帯同と指導内容についてのディスカッション

・アニマルウェルフェア／薬剤耐性問題等の講義とディスカッション

家畜保健所

■ ベーシック実習

・施設見学／業務説明

・微生物検査、生化学検査、病理検査、BSE検査等 基本手技を体験する実習（簡易検査体験）

■ アドバンスト実習

・細菌、ウイルスを特定する検査実習（2～3日かけて経時的な観察、操作を行う検査体験）

・防疫演習（実践体験）

・防疫シミュレーション（平時、有事の対応フローをディスカッション形式で学ぶもの）

・農場帯同とコミュニケーション技術についてのディスカッション

・アニマルウェルフェア／薬剤耐性問題等の講義とディスカッション

保健所

■ ベーシック実習

・施設見学／業務説明

・微生物検査の基本手技を体験する実習（簡易検査体験）

・新規営業許可施設等 相談の受付、調査の帯同

・営業許可、監視指導、収去の帯同

■ アドバンスト実習

1. 食品衛生に係わる業務実習

・新規営業許可施設等 相談の受付、調査の帯同とフィードバックおよびディスカッション

・営業許可、監視指導、収去の帯同とフィードバックおよびディスカッション

・HACCPに沿った衛生管理指導の帯同

・危機管理演習（実践体験）

・危機管理シミュレーション（食中毒発生等を想定した対応フローを学ぶセッション）

・リスクコミュニケーションの実施、運営参加

・コミュニケーション、対応技術についてのディスカッション

2. 生活衛生に係わる業務実習

・理容所、美容所、クリーニング所、旅館業、興行場、公衆浴場 監視指導の帯同、調査、検査実習（現場における簡易検査体験等）

・水道、河川、井戸等の水質検査の帯同、調査、検査実習（現場における簡易検査体験等）

・薬事監視に係わる業務の帯同

・リスクコミュニケーションの実施、運営参加

・コミュニケーション、対応技術についてのディスカッション

動物愛護センター

■ ベーシック実習
・施設見学／業務説明
・動物の保護、管理の業務実習
（動物の収容、犬猫の引取り、動物の管理、動物の譲渡、殺処分の帯同実習）
・動物愛護精神と適正飼養の普及啓発に関わる業務の帯同実習
・動物教室、譲渡会、イベント、講習会の開催、運営参加

■ アドバンスト実習
・動物取扱業、特定動物の監視・指導の帯同実習
・現場におけるコミュニケーション技術についてのディスカッション
・適正飼養、アニマルウェルフェア、コミュニケーション技術等についてのディスカッション

衛生研究所、畜産試験場 等

■ ベーシック実習
・施設見学／業務説明
・感染症、疫学等の講義
・各種検査の基本手技を体験する実習（簡易検査体験）

■ アドバンスト実習
・現場帯同による検査実習（採材、分析、評価の各工程を含む）
・危機管理演習（実践体験）
・危機管理シミュレーション（感染症発生等を想定した対応フローを学ぶセッション）
・リスクマネジメント、リスクコミュニケーションについてのディスカッション
・疫学、統計解析実習
・農場HACCPに沿った農場衛生管理業務の帯同実習
・家畜のハードヘルスマネジメントの手法の普及啓発、指導業務の帯同実習

本庁

■ ベーシック実習
・施設見学／業務説明
・各種講義（所管域内の家畜衛生、公衆衛生情勢の講義、都道府県市条例とその背景についての講義、職員獣医師の活動についての紹介）

■ アドバンスト実習

・リスクベースの感染症管理施策策定などに係る会議への陪席

・条例等の策定実習

・都道府県市条例とその背景にかかわるディスカッション

様式1

2026年度　VPcamp実習プログラム

	項目			記入欄
1. 実習概要	実習機関名称			
	受入期間			
	対象学年			
	受入人数			
	受入条件(または優先事項)			
	その他必要な資格			
	実施場所1名称			
	所在地			
	実施場所2名称			
	所在地			
	実施場所3名称			
	所在地			
	実施場所4名称			
	所在地			
	実施場所5名称			
	所在地			
	実習開始日の集合日時／場所			
	集合場所までのアクセス方法			
2.実習内容	実習プログラム詳細	概要説明		
		1日目	場所	
			午前	
			午後	
		2日目	場所	
			午前	
			午後	
		3日目	場所	
			午前	
			午後	
		4日目	場所	
			午前	
			午後	
		5日目	場所	
			午前	
			午後	
	注意事項			
3.受入決定後の連絡先	実習窓口担当者氏名			
	担当課			
	電話			
	メールアドレス			

様式4

2026年度　VPcamp実習申込表

機関名	

No	受入可否	大学名	学年	年齢	所属講座	名前	フリガナ	性別	メールアドレス	実習期間	出身 都道府県	自由記述欄	推薦者職名 （指導教員または担当教員）	推薦者氏名 （指導教員または担当教員）	学生の傷害保険・賠償保険加入状況
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															

様式4-1

2026年度　VPcamp実習受入表

機関名	

応募学生は全員、大学(教員)の許可を得ています。
また、保険の加入状況も大学にて確認済みです。

No	受入可否	大学名	学年	年齢	所属講座	名前	フリガナ	性別	メールアドレス	実習期間	出身都道府県	自由記述欄	推薦者職名（指導教員または担当教員）	推薦者氏名（指導教員または担当教員）	学生の傷害保険・賠償保険加入状況
1	○														
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															

受け入れの学生のみ、○を付けてください。
プルダウンから○を選択するとセルに色が付きます。

申し込みフォームに入力された内容のほかに、
大学側から提供された情報を表にしてお送りしますので
これらを基に学生選考をお願いします。
選考後は、受入可否欄に○印を付けて
加工せずにVPcamp事務局へお送りください。

※便宜上、**様式4-1　実習受入表**　としていますが
VPcamp事務局より送信した　**様式4　実習申込表**　に
受入可の○印を付したものをご返信いただくことで差し支えありません。

様式12

VPcamp 個別評価シート

評価方法	プルダウンで選んでください

	記入例	学生01	学生02	学生03	学生04	学生05	学生06
機関名称	東京都						
実習生氏名	獣医　太郎						
所属大学	北海道大学	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください
修学年次	5	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください
実習開始日	(注:西暦) 2019.08.05						
実習終了日	(注:西暦) 2019.08.09						
実習日数合計	5						
出席日数	5						
欠席日数	0						
VPcamp日誌	提出済み	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください
規律正しい態度であり、実習中支障はなかった	A:優れている	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください
業務内容の的確な理解ができていた	B:やや優れている	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください
業務内容に適応した行動であった	C:普通	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください
目的意識をもって意欲的に取り組む姿勢がみられた	A:優れている	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください	プルダウンで選んでください
学生へのアドバイス	真摯な受講態度で、学び取ろうとする意欲を感じました。こちらからの質問に適切に回答できるなど大学で学んだ知識がしっかりと身についている様子が随所に見られました。今回の実習が将来の進路選択の一助になれば幸いです。						
大学へのコメント	極めて優秀な方でした。実習に臨む姿勢や意欲は高く評価でき、模範的なものでした。						
評価日	2026年9月1日						
所属	農林水産部畜産課						
評価者	新宿　一郎						